

# 令和7年度秋田県放課後児童支援員等認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

## ＜県央会場＞

### 科目 ⑨子どもの遊びの理解と支援

- ◆ 子どもの遊びの理解と支援のねらいの中で、遊びの大切さについて、という項目があることから、幼児期から学童期の連続した遊びの大切さを理解した。また、遊びの中で失敗体験をすることで成功体験の達成感を得ることが、自己肯定感を作る上で大切なことを学んだが、これは幼児期にも共通する大切なことと感じた。遊びには子どもが安心できる環境が必要であることから、学童クラブが、子どもたちが安心し、心地よく過ごせる場所であるために、様々な配慮と工夫が必要であると感じた。子どもたちが自分らしくいるために、自ら遊びを選択し創造できる環境作りが大切だということを学んだ。
- ◆ 子どもの生活において、遊びが大切であるということは誰しも知っていることであるが、今回の研修で、なぜ遊びが大切なのか、どのような遊びが適切なのか、遊びからの学びが入学後の学習にも影響を及ぼすなど、改めて知ることができた。そのためには支援員は子どもが安心して遊べるように、環境を整え、一人ひとりの違いに配慮し、時には遊び仲間に、時には遊びの調整役となって支援していきたいと思う。
- ◆ 子どもにとって遊びは生活そのものであり、心身の発達のために重要である。多様に動いたり、想像力を働かせたりして遊びの中から新しいことを発見していくので、学んだことを伸ばすサポートをしていきたいです。年齢、発達段階等、多様な状況の子どもたちと一緒に心地よく過ごせるように工夫し、衛生及び安全が確保された設備や備品を配置することを意識していこうと思いました。
- ◆ 子どもが、自発的、主体的に行われる遊びの中で成功体験や失敗体験をすることの重要性を学びました。保育補助として勤務していた時を思い出すと、一日中何かで遊んで生活しているいろいろな能力が育つと実感していました。特に園庭や散歩では五感が働き、季節の移り変わりも体験でき、遊びがすべて成長につながると思います。学童クラブでも雨の日以外は外遊びが楽しめるように遊具をそろえて楽しませています。遊びの大切さを理解し今後も見守りたいです。
- ◆ 子どもにとって遊びとは「生きること」そのものであり、生きていくうえで必要な様々な力を育むうえで非常に重要であることを学びました。しかし、子どもを取り巻く社会的変化、デジタル機器の普及により人との関わりが希薄となり、コミュニケーション不足になっていることも事実です。私たち大人は、安心して遊べる環境を整えてあげ、子どもの目線に立ち、一緒に遊び、側で見守りながら寄り添うことが大切だと思いました。